

# 琉球大学学術リポジトリ

岸総理大臣第1次訪米関係一件 岸・マッカーサー  
予備会談（於東京） 第1巻

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-04-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/44167">http://hdl.handle.net/20.500.12000/44167</a>

(2)

念

談

錄

岸マワカサ会談

(昭三三三一四)

次

信

政務局長

極秘

文書課長 出

山本総理、マッカーサー米大使、合渡西女七日

(昭三三・三・一四)  
文書課長

三月十四日午前九時四十分、マッカーサー米大使は、

山本総理の総理就任の伴う表敬のため、単身で

て総理官邸に山本総理を来訪、約二十五分間

合渡西女が、<sup>その</sup>二月廿七日夜を通り、(竹内の子同居)

一、大使より祝辭を述べた後、本日は、アイゼンハワー

外務省

大校領あり、口頭をメッセーが伝達する様との  
 訓令に接し、いよいよ、申上げたい。大校領は来る  
 五月八、九、十日の三日間、貴校でワシントンに招  
 待し、その間ブレア・ハウスに宿泊されるようとの  
 意向がある。若し之を受諾される際は、日米双方  
 (ワシントン)の稟書( )にて、その旨同封発表を行が  
 ることとし、ホワイ・ハウスの慣例として、この種

\* 発表文章文々いふ  
 記の訪米スアメールに  
 つき、大使は自分の  
 ためとして作つたもの  
 であり、刺合は日英で  
 この趣旨を伝達せよ  
 とのことがあるかと断  
 つたを、右メモを根  
 拠に手まゝした。  
 右メモは現在総務  
 部で保管されてる。

発表はワシントン時間の正午とふくむ。本件も追つて

合意された日の正午(ワシントン時間)発表と致すこと。

\* 発表文章の趣旨は今回の作業は露米間の解決を目的とし

し、その趣旨はよく、日本相与り理解増進を目的とし、

この趣旨を致し、之は三日間び凡ゆる露米間の

解決を回すか如き誤解を一般に与へるためである。

自分は大教領のオフィスに二回勤めたことがあるが大教

領は二の種子項(招待)が公式発表前に渡れることより  
りには極めて神主質であり、是般其不女王の行状が囁  
されたる際も非常に不愉快であった。従つて、本件招待  
加あつたことは発表迄極秘としておくことは是非とも女  
要を考ふる。

本件招待に因する鶴泥のあ考えは本日も或は  
後日とも同之れは事である。

一、總理より右拒絶を謝したに、本会の会期は五月十七日迄とふるに、予等は四月三日に参院を通過する、要法案もふいに、本会の実質的審議は四月末に終つと思ふ、この一週間位を、本会の見送りか一更に以暗くす、と考へ、他方二十一日の自民党大会を、自らが終裁する、予言であり、之が済めば、政局の見送りもつく予言である、さうすれば、本会の会期中にはあるが、

に忘せられぬと思ふ。しかし、確答は一週間乃至十日位お  
待ち願ひをい。

自分は出来るかを考へていたことであらう。今度訪米すること

ふいは一層その必要性ありと考へるか。貴大使と自分と

の間において各種の重要問題につき意見交換を行ひ

日米双方の考へ方と率直に話し合ふことが是非必要は

ことと思ふ。出来れば外に渡れぬ例えは

週二回 一回約二時間位を当てることとして、糸川

八乃と十田位、今度へ行かたい心算がある。訪米

の招待に応ずるとしても、当地におります。貴大使と

の間には漢文を盡しておくことと致したいことだ。

一石に對し大使より、御構想は、一〇〇名位ころでなく

二〇〇名位に成り、今度内務省に在秘とす、こと絶

社女要があるか、会見の時間場所等については一切

総理の即指図に従う。

この会議におき 諸悪事については勿論、日米関係が

新段階に入った際、全般的な問題乃至 考へ方につ

き総理のお考えを聞き、事務長官及び大蔵館に報告

する事は極めて有益と感ず。会議の進み方について

は一切総理にお任せするが、先ず総理のお考えを聞

き、自分かそれらについてよく考え直し、その次の会議に

ある自分の考えを申上げるといふ風に行いたこと

思う、この概ぶ事案、協議は問題の進展を待つ

きりさせ、ワシントンにおける三日間の会議も有

初ふうしめものじあると考えよと述べた。

取り敢えず

一石に石を、総理より大衆の対しては抱持するべき

自分の謝意を伝達ありたく、確答は前途の通り

暫くお待ち願ひたいと述べた。



別  
添

The American Ambassador paid a courtesy call on Prime Minister Kishi this morning. Matters of substance were not discussed although their conversation <sup>touching upon</sup> ~~included informal discussions regarding~~ the possibility of Prime Minister Kishi visiting the United States later this year.